

JA だより

11

2020

November

第146号

📷 今月はお買物券付き



表紙の写真

刈乙女による抜穂
(井口町)

毎年11月23日に行われる宮中行事「新嘗祭」に献上する
献穀田抜穂式の様子。



白山農業協同組合
(@ja.hakusan)



白山農業協同組合
(@ja.hakusan)



JA 白山
(@530vzuic)



新嘗祭「献穀田御拔穂式」

井口グリーンワークス

9月12日、井口町の圃場で献穀田御拔穂式が執り行われました。毎年11月23日に行われる宮中行事「新嘗祭（にいなめさい）」に献上する献穀米収穫の儀式です。

御拔穂の儀で刈乙女（かりめ）を務めたのは、献穀者の農事組合法人井口グリーンワークス代表理事 北村真一さんの孫を含む児童6人。児童らは紺の着物姿で穂を丁寧（ていねい）に抜き取りました。

式では、谷本正憲知事、山田憲昭市長、車幸弘県議、竹内文雄組合長が祝辞を述べました。

献穀者の北村さんは、お礼の言葉を述べ「心を込めて丁寧に生産・収穫した献穀米を新嘗祭にお届けしたい」と挨拶されました。

本来であれば、皇居において10月下旬に執り行われる献穀献納式に献穀者が出席し、献穀米を直接献納しますが、今年はコロナ

感染拡大の影響

を受け、石川県

で取りまとめの

上、郵送にて

献納しました。



新嘗祭（にいなめさい）とは

「新」は新穀、「嘗」は御馳走を表し、稲の収穫を祝い、神に感謝し、翌年の豊稔を祈願する儀式で、日本全国の神社で行われています。宮中では、11月23日に天皇陛下が自らお育てになった新穀を神に奉るとともに、御自らもその新穀をお召し上がりになります。

収穫の祝いの儀式が11月下旬に行われるのは、天皇が東北や北陸の収穫を待っておられると説明されています。

理事会だより

第7回理事会 日時／令和2年10月28日（水）午後1時30分

審議事項

第1号議案 令和2年9月末貸出金等の自己査定結果および不良債権の回収対応について

第2号議案 井口育苗センター建物改修工事に係る業者および金額の決定について

以上2項目について審議し承認されました。

報告事項

1 令和2年9月末事業実績および上半期仮決算について

2 理事との取引結果の報告について

3 令和2年度産米の管内生産概況と米の需要見込みについて

4 令和2年度上半期有価証券運用実績について

5 令和2年度第3四半期余剰金運用方針について

6 組合長一任取引による有価証券取得結果について

7 令和2年度第2四半期目店検査結果について

8 令和2年度上半期コンプライアンス・プログラム取組状況報告について

9 令和2年度第3四半期（有）アグリサポート白山事業報告について

10 支店運営委員長・副委員長会議の報告について

11 JA白山「食&農」まつりの運営について

12 令和2年度第2四半期苦情等の受付対応処理状況について

13 令和2年度第2四半期事務ミス等の発生状況について

14 令和2年度第2四半期反社会的勢力等にかかる対応状況について

15 令和2年度第2四半期組合員数について

16 その他

①「令和2年7月豪雨JAグループ支援募金」活動報告について



親子稲刈り体験

9月26日、JA白山の主催で親子稲刈り体験を行いました。手取管内(農ゆいファーム)かわいの圃場で女性部、青壮年部の協力のもと、親子14組が稲刈り体験に参加しました。

前日の雨で圃場の状態が心配されましたが、生産者の管理が行き届いていたお蔭で、稲刈りを楽しむ事ができました。

初めに、稲刈りについて営農部より説明があり、子供達は恐る恐る鎌を握り歓声をあげながら稲を刈りとりました。

稲刈りの後は、女性部が用意した炊き立ての新米コシヒカリ「比咩の米」を家族みんなで口いっぱいにはおぼり、お米の美味しさを味わいました。

JA白山は、今後も子供達の成長を応援するとともに「食と農」の理解促進に取り組んで参ります。



農林漁業まつり

10月17日、金沢市の産業展示館4号館で第42回農林漁業まつりが開催されました。

会場では、「石川県農林水産功労者知事表彰」が行われ、知気寺宮農務ワークス代表の、織田章さんが地域農業の振興の功績を認められ、表彰されました。

織田さんは、平成19年に農事組合法人知気寺宮農務ワークスを設立し、認定農業者として地域農業活性化と地域農業の維持発展に貢献されました。

また、同法人は県内「ひやくまん穀」種子の全量を供給しており、現在の「ひやくまん穀」普及にも大きく貢献しています。



表彰を受けた 織田 章さん (前列左)



本店「食&農まつり」開催



10月31日、秋晴れの中、本店多目的ホールにて「食&農」まつりを開催しました。

今年はコロナ禍の中で、まつりの開催について十分協議を重ね、このような時ではあるが地域の食と農を盛り上げて行こうと実施に至りました。当日は、管内外からたくさんのお客様にご来場いただきました。

会場では、コロナ感染防止対策としてサーモグラフィー、アルコール消毒、除菌シート等の設置を徹底し、食品類はテイクアウトとしました。開場直後には、新鮮採れたての地元農産物や、県外JA直送の果物などを求め、多くの方で賑わいました。ふるまいのきな粉もちに行列ができ、大変喜ばれました。

会場正面には、「JA白山の農業と自己改革」と題し、プロジェクトを投影、JA白山の変遷、現状、現在の取り組みを紹介しました。

今年はコロナの影響から販売が減少している全国JAの農産加工品の人気特産品を28種類取り揃え、販売しました。

模擬店コーナーでは、女性部による「炊込みご飯」「いなり寿司」の他、スイーツが人気、青壮年部では、「やきそば」「大学イモ」などを販売、いずれもお昼頃には完売しました。

今後も、地域に密着し、地域農業の発展、地産地消の拡充、地域活性化に取り組んで参ります。



ふるまい「きな粉もち」
たくさんの行列でした



青壮年部コーナー



女性部コーナー



刑務所作業製品も
人気でした



全国JAより
特産品をお取り寄せ！

ご来場
ありがとう
ございました



健康相談



「よらんスムージー」
はじめました

よらんかいねえ広場では、地元生産者が真心を込めて生産した野菜と果実を使った《よらんスムージー》を販売します。

この商品には生産者のロスを減らし、生産者の所得を増大するという目的があります。味は全4種類。季節によって変わる旬の味を是非お試しください。

美味しくてカラダに優しい1杯を200円で販売します。何かと野菜不足と言われる現代人の健康のために、一躍買うのではないでしうか。



各1杯
200円
(参考税込価格220円)

※いづく処にて食券をお買い求めいただき、セミセルフ形式でご利用ください。

所得
増大

蝶屋支店 収穫感謝即売会開催!

地域
活性

10月25日、蝶屋支店にて「収穫感謝即売会」を開催しました。

今年は、コロナ禍でマスク着用等、感染防止対策を十分に行った中で開催し、約600人の方に来場いただきました。

開場早々、新鮮な地元農産物・県外JA直送の果物や、さわし柿、白山産きのこ類の販売コーナーが賑わい、完売となりました。また、運営委員の焼きそば・フランクフルト、女性部のスイーツ・いなり寿司などの加工品も人気を集めました。

開催の途中で一時的に雨が降りましたが、アトラクションの和太鼓演奏開始時には晴れ間が見られ、会場を盛り上げ、大道芸人によるバルーンアートも喜ばれました。

農業車の撮影会では、最初は怖がつていたお子さんも、一度乗車した後は慣れて楽しんでいました。

ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



地元産直品は大人気



模擬店も大好評



和太鼓演奏



農業車との撮影会

よりぞうも
来たよ



2020 JA白山よい食プロジェクト

地域
活性

このプロジェクトは、心と体を支える食の大切さ、国産・地元産の豊かさ、それを生み出す農業の価値を伝え、国産・地元産と日本の農業のファンになっていただくという運動です。「よい食」とは、おいしい食のこと。楽しい食であること。家族の健康を支えるもの。よい暮らしそのものを指します。



管内の学童1～4年生約110名が井口グリーンワークスの畑でトウモロコシの収穫体験をしました。「おひさまコーン」は甘みが強い品種で、とても人気があるそうです。

児童達は、JA営農指導員によるトウモロコシクイズで盛り上がった後、生き生きと収穫を楽しんでいました。



営農だより



9月20日、手取町の農事組合法人手取営農組合の圃場で、JAグループ石川のCM撮影が行われました。

6月に第1弾として、水稻栽培の中間期の除草作業や水管理風景の撮影を行っており、今回は第2弾として、収穫風景の撮影が行われました。本撮影ではドローンによる空撮も行われ、黄金色に実ったひやくまん穀の圃場で生産者ご夫婦にご協力いただき、安心・安全な県産米のPRに繋がる様期待されます。

美川地区でCM撮影



10月1日に、秋ブロッコリーの出荷が始まりました。昨年は、黒ずす病により、収穫量が減少したことから、今年は安定した収量確保のため対策に取り組んでいます。

ブロッコリーの収穫作業は、朝6時頃から行われ、採れたての新鮮なブロッコリーを、いち早く消費者の元へ届けたいという思いで市場へ出荷しています。

秋ブロッコリー出荷



そばの収穫始まる



10月9日からそばの刈取りが始まりました。約30haの作付面積で、11月上旬頃まで刈取りは続きます。本年は生育も順調で前年(7.7t)を上回る10tの収穫が見込まれています。



▲そばの実



手取支店 10月21日、爽やかな秋晴れの中、鳥越小においてサツマイモ掘りが行われました。5年生担任の指導の元、各学年の実行委員がサツマイモを掘るところから洗うところまでの説明をした後、児童は楽しいイモ掘りに汗を流しました。

昨年この活動を始めたところ、植えたサツマイモの品種の安納イモが、とても甘くて好評だった為、今年も掘ったサツマイモは、児童らによって集められた落ち葉と、準備した薪でやきいもパーティーをする予定です。



鳥越小学校やきいもパーティー

いち
支店
いち
協同活動

いしかわ

田んぼの学校推進プロジェクト 稲刈り体験



朝日小学校



9月3日、島田さんの圃場で5年生が一生懸命に稲を刈り取っていました。

白峰小学校



9月15日、白峰地区の尾田さんの圃場でゆめみづほを刈り取りしました。

白嶺小学校



9月7日、田畑さんの圃場にて稲刈りを行いました。根元を結んではぎ掛けをしました。

広陽小学校



9月7日、(農)知気寺宮農ワークスの圃場で5年生が刈り取りしました。

明光小学校



9月15日、5年生が刈り取った稲を順番にコンバインに運んでいるところです。



「いしかわ田んぼの学校推進プロジェクト事業」は農業体験を通じて、主食のお米や「食」の理解を深める事が目的で、管内5校で稲刈り体験が行われました。田んぼを提供された農家さんや営農指導員に、てほどきを受けながら、鎌を

使って慎重に刈り取り、はぎ掛けやコンバインでの脱穀も体験しました。最後は落ち穂拾いで、農作物を少しでも無駄にしない作業を行いました。ご協力いただいた農家の皆さま、ありがとうございました。



青壮年部

林支部 稲刈り体験

9月18日、保育園の敷地内にあるミニ圃場にて、園児21名が稲刈りを体験しました。

あいにくの雨でしたが、鎌でケガをしない様に注意を受けた後、ミニ圃場の上にテントを広げて稲刈りを開始しました。刈り取った稲は、はさ干しをしました。園庭の敷地には圃場の他にも畑もあり、トマト・きゅうり・ナスを植えたりしています。稲刈りの後に大根の種を撒きました。

支部長の高本さんは、年間を通じて食育活動をしており、今年で20年程になると話していました。



林支部 サツマイモ収穫体験

10月6日、青壮年部林支部の圃場にて、あいわ保育園の年長・年中合わせて40名がサツマイモ掘りを体験しました。

青壮年部支部長の高本さんは、この活動は今年で7年目を迎えますが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、園児と一緒に苗を植えられず残念でしたが、収穫が無事でできて良かったと話していました。この日は、金時芋と紅はるかのかの2種類を収穫。

採ったサツマイモのつるは、乾燥させてクリスマスリースを制作するとの事。サツマイモは後日焼き芋にする予定です。土に触れ、サツマイモがどうやって成るか、学びのきっかけになったのではないのでしょうか。



女性部

レディースメイト ミニバック作り

9月23日、蝶屋支店にてレディースメイト会員でもある助田さんのご指導の元、ペーパークラフトでミニバックを作りました。

参加者は10名で、各々色とりどりのペーパークラフトを選び、熱心にバック作りに取り組んでいました。制作時間は約1時間程度でしたが、皆さん普段の賑やかさはまた違った表情で、まさに真剣そのものでした。

完成した作品に大満足で、今度はもっと大きなバック作りに挑戦したいと意気込んでいました。



地域
活性
女性部

フードドライブ活動にご協力ください

フードドライブとは、家庭で眠っている不要食品を募る運動のことです。フードバンク等に寄贈し、食品支援を必要としている福祉団体や施設、個人へ無償で提供する活動です。生活困窮者や低所得者、一人親世帯など支援を必要とする方々にも食の楽しさを提供でき、提供者は家庭での食品ロスを見直すきっかけとなります。

県内でも女性部などを通じて活動し、石川県のフードバンクや福祉施設へ寄贈しているJAが増えていきます。当JA女性部に於いても、地域貢献の一環として、JAと一体となり活動に取り組みうとしたものです。各支店窓口でポスターを掲示し、呼びかけを行います。皆さまのご協力をお願いします。



フードドライブ活動にご協力を！

ご家庭に眠っている食材をご寄附いただき、支援を必要とする世帯へお届けする活動です。家庭での食品ロスを見直すきっかけにいただき、地域で食品ロスの削減に取り組みましょう。

ご寄附品は『白山市社会福祉協議会』を通じ、支援が必要な方へ送られます。

主催 JA白山 女性部

共催 JA白山

受付場所 本店および各支店窓口

受付期間 令和2年11月16日(月)～12月4日(金) 午前9時～午後3時



**お買物券
¥100**

有効期限 2020.12.31

店使用可
ダウンロード
デユダでは

- このお買物券は上記店舗以外では使用できません。
- 現金との引換えはできません。
- おつりの支払いはできません。
- お1人様1枚使用できます。

JA白山
(株) ジャコム石川

受付できる食品

- ☐ 賞味期限が1カ月以上のもの
- ☐ 包装が破損していないもの
- ☐ 安全が確保されているもの
 - ・缶詰、飲料(酒類を除く)
 - ・インスタント食品、レトルト食品
 - ・乾麺、乾物、お米、調味料
 - ・防災備蓄食品(フリーズドライ食品、乾パンなど)

受付できない食品

- ☐ 賞味および消費期限が切れたもの
- ☐ 包装が破損しているもの
- ☐ 安全が確保されていないもの
 - ・生もの
 - ・お弁当やサンドイッチなど(消費期限が短いもの)
 - ・開封済みのもの、食べ残されたもの

皆さまのご支援をお願いいたします

お問い合わせ先：白山農業協同組合

蝶屋支店 北村	TEL076-278-2315	手取支店 松山	TEL076-255-5001
大神支店 島田	TEL076-272-0620	本店総務部 藤本・阿部羅	
つるぎ支店 大湯・鶴尾	TEL076-272-1515		TEL076-272-3333



交通安全旗リレー式

9月7日、本店にて交通安全旗リレー式が行われ役職員30人が出席。交通安全旗は各JAへ順番に引き継がれ、職員には交通安全を意識させる機会となっています。

職員代表の佐久間さんが、「交通安全宣言」を読み上げ、運転マナーの向上や危険運転の根絶を誓いました。

竹内組合長は、「職員の自動車運転だけでなく、農業者の大型農機の運転も気をつけるよう推進し、皆さんが常に安全な作業を心掛けてほしい」と挨拶しました。



やっぱり安心！断然お得！！

JA白山の灯油定期配送キャンペーン

定期配送特典

特典1 通常配送価格より

3円引き

灯油切れの心配ご無用

特典2

令和2年12月1日(火)～
令和3年3月15日(月)までの期間で

取扱割戻し

させていただきます。

■ 500ℓ以上	1ℓ当たり 1.5 円
■ 800ℓ以上	1ℓ当たり 2.5 円
■ 1,300ℓ以上	1ℓ当たり 3 円
■ 2,000ℓ以上	1ℓ当たり 4 円

JA白山推奨ギフト

特別な気持ちを含めた、毎日の食卓を味わい豊かにする品を。
どれもひと味違うこだわりの、
そして自信の逸品をセットにしました。

二巻のみ前高宇治抹茶入り・
岐阜産・紀州南高梅合せ

4,000円(税別)

JA白山 手取ふれあいホール

Aセットプラン

【プラン内容】
基本費送料 250,000円
会場使用料 100,000円
必需品セット 300,000円
椅子・机費 500,000円
組合員様限定 Aセットプラン
総額セット 380,000円

Bセットプラン

【プラン内容】
基本費送料 300,000円
会場使用料 100,000円
必需品セット 300,000円
椅子・机費 500,000円
組合員様限定 Bセットプラン
総額セット 480,000円

お問い合わせ 手取支店 ☎ 076-255-5001
経済課 ☎ 076-273-5213
白山市釜清水町チ10番地 TEL 076-254-2051

お知らせ

令和3年春用「種馬鈴薯」予約受付中

春植え用の「種馬鈴薯」の予約受付開始しました。

男爵・メークイン・キタアカリ 5kg箱入

申込締切：12月23日水（令和3年2月中に配送予定）
 ※注文は箱単位で承ります。
 くわしくは各支店窓口または営農経済部の申込用紙をご確認ください。

農業用廃プラスチック類
処分のご案内

正しい処理で清潔な環境を!!

野焼きや不法投棄は法律で罰せられます



- ◆農業用廃プラスチック類（使用済みのビニールや、農薬空容器、肥料空袋など）は産業廃棄物です。
- ◆適正な処理を行うため、以下のとおり回収を行います。

不要農薬回収のご案内

処理費用有料（内容と重さにより異なります）

風袋込みで1キロあたり 税込

一般農薬 399円 不明農薬 660円
 くん蒸剤 3520円

※処理費用の精算は、口座より引き落としさせていただきます。※水銀剤の対応は現在できません。

収集日時 令和2年11月19日(木) 午前9時～午後4時
 収集場所 鶴来・河内地区 JA白山配送センター(旧営農センター)
 手取地区 JA白山 手取支店倉庫
 蝶屋地区 JA白山 蝶屋支店低温倉庫前
 対象品目 農ポリ、ハウスビニール、マルチ類、肥料袋、育苗箱、農薬の空容器

法務局で遺言書を保管できる
「自筆証書遺言書保管制度」が
始まりました！

この制度は、自筆証書遺言書を作成した本人が、法務局に遺言書の保管を申請することができるというものです。この制度を利用すると、遺言書の紛失や亡失の防止、他人による破棄や改ざんをされたりすることがない等、遺言者だけでなく相続人や受遺者等にもメリットがあります。

なお、本制度をご利用される以外にも、これまでどおり、自筆証書遺言書を自ら保管することももちろん、公正証書遺言制度をご利用いただくことも可能ですので、それぞれの特徴を踏まえてご判断ください。

詳しい手続は、法務省ホームページをご覧ください。

法務省ホームページ

http://www.moj.go.jp/MINJI/minji03_00051.html

【問合せ先】 金沢地方法務局供託課 Tel 076-292-7846
 （平日：午前8時30分から午後5時15分まで）

遺言者の手続

遺言書の保管の申請



- ① 手続には必ず遺言者本人が法務局にお越しください。
- ② 自筆証書遺言の方式について外形的な確認を行います。
- ③ 遺言の内容についての相談はお受けできません。
- ④ 遺言者は預けた遺言書の閲覧や保管の申請の撤回をすることができます。

保管の申請に必要なもの

- ① 自筆証書遺言に係る遺言書
- ② 申請書*
- ③ 添付書類(本籍の記載のある住民票等)
- ④ 本人確認書類(マイナンバーカード・運転免許証等)
- ⑤ 手数料(収入印紙)

*申請書の様式は、法務省HP
http://www.moj.go.jp/MINJI/minji03_00051.html
 からダウンロードできます。また、遺言書保管窓口にも備え付けられています。

遺言者が亡くなった後の手続

相続人等は、遺言書の内容の証明書の請求や遺言書の閲覧をすることができます。

遺言書が法務局において保管されていることを、その他の相続人等に通知します。



検認不要

法務局において保管されている遺言書については、家庭裁判所での検認が不要となります。

① 本制度に係る全ての手続には予約が必要です。

JA白山

特別金利適用期間

令和3年4月30日(金)まで

ローン特別金利商品ラインナップ

住宅ローン

(石川県農業信用基金協会保証型)

10年固定 特約型特別金利

年
0.80%
(保証料込)
(基準金利 年2.40%)

返済プラン

借入金

2,000万円

毎月返済額

●返済期間 35年間
当初10年の毎月返済額

54,612円

リフォームローン

(三菱UFJニコス保証型)

固定金利

(保証料込)

年
1.70%

返済プラン

借入金

300万円

毎月返済額

●返済期間 15年間

18,893円

マイカーローン

(三菱UFJニコス保証型)

固定金利

(保証料込)

年
1.70%

返済プラン

借入金

100万円

毎月返済額

●返済期間 5年間

17,396円

WEBで簡単
仮申込

マイカーローンの
マネシミュレーションは
こちらから



JAは、どなたでもご利用いただけます。 ※商品の詳しい内容についてはチラシをご覧ください。(令和2年10月1日現在)

詳しくは最寄りの
店頭窓口まで

JA白山
白山市井口町に62番地1

つるぎ支店 ☎272-1515
大神支店 ☎272-0620
蝶屋支店 ☎278-2315
手取支店 ☎255-5001
白峰支店 ☎259-2003

参加無料
事前予約制

ローン相談会

開催店舗 JA白山 本店

令和2年12/6(日)・令和3年3/6(土) 9:00~16:00

私たちの **JA** (令和2年9月末実績参考)

組合員数	6,960名(団体含)
貯金残高	75,201百万円
貸出金残高	14,077百万円
長期共済保有高	1,957億円
購買品供給高	1,154百万円
販売品取扱高	402百万円

無料税務相談会

要予約

- 開催日時 令和2年11月26日(木) 午前9時~12時(基本30分単位)
令和2年12月25日(金)
 - 開催場所 JA白山 本店
 - 顧問税理士 税理士 本田 英夫(株アーマス)
 - お問い合わせ・お申込先 本店総務課 大岡
- TEL 272-3333 FAX 273-0690
e-mail soumu@hakusan.is-ja.jp
お申込み順に受け付けております。

